



育児支援
拡充

誰かを頼ることは甘えじゃない。もっと頼れる育児支援サービス！

現在、共働きが当たり前の社会になり、女性の力が必要とされているのに、家庭の中は「母親だから」「女性だから」という昔の風習が根強く残っている。このような状況では、なかなか女性が本来の力を発揮できません！だからこそ、社会全体で共働き世帯を支える仕組みが必要です。例えば病児保育施設、せっかく施設はあっても必要な時に使えない、という問題。もっと利用条件の緩和を行い、必要な人に届く頼れる支援サービスを目指します！そして、共働き、共育ての時代に関わらず、授乳室はまだママだけの空間、もっとパパも赤ちゃんと安心して過ごせる授乳室の整備を進めていきます！



中学校
完全給食

国による給食費無償化を見据え “中学校での完全給食実施”

現在の佐賀市は給食が実施されている中学校、調理場の供給量の問題から給食を選択制としている学校と、同じ市内でありながら格差が生じています。給食未実施校の保護者を対象としたアンケートでは完全給食を求める声が多く、また、国による中学校給食の無償化を見据え、より格差が広がらぬよう調理場の整備等を行っていく必要があります。調理場の整備は災害の激甚化が進む中、災害時の食事の供給体制にも繋がります。



体育館
エアコン

猛暑で授業に影響 !! 避難所にもなる体育館にエアコン設置

年々厳しさを増す猛暑の影響は、学校教育の現場にも大きな影響を及ぼしています。全国的に熱中症への警戒から、教育現場では体育館を使った授業が制限されたり、中止となる事も多く、今すぐ対策を行う必要があります。部活等で近隣自治体の体育館施設を使用する子供たちからは、「なぜ佐賀市はエアコンがないの」と悲痛な声が多く届いています。万一の災害時にも今のままでは、猛暑の中で体育館は避難所として機能しません。



いのちを
育てる授業

“いのち”を育てる教育を佐賀から！！

「心」に「生」と書いて「性」。
子どもたちが将来、誰かと支え合って生きていく力を育むために性教育は必要です！昔と違い、今の子どもたちはネットを通じて様々な情報に触れます！怖いのは、脳がまだ成熟していない時期に、正しい分別ができず、時に誤った知識や偏った価値観を植え付けられることもあります！だからこそ幼少期からの「正しい知識」と「相手を大切にする心」を育む性教育が大切です。家庭や学校が無理なく取り組めるよう、地域や行政がサポート体制を整え、いのちを育てる教育を佐賀市から取り組みます。



PTA
制度改革

保護者の負担にならない！！“PTA 制度改革”

PTAの本部役員として活動した経験から、今こそ改革が必要です！！担い手不足は深刻な状況であり、じゃんけん・くじ引きによる罰ゲームのような役員の決め方を、根本的な役割の見直しにより変えていく必要があります。学校行事の運営とPTA協力の在り方について、保護者の負担軽減の為に、市が補助を行う等で、制度改革が行える支援を目指します。任意の組織にも関わらず強制や、行事運営がPTAに依存している状況を打開します。



教育現場
デジタル活用

子供も保護者も先生も “教育 × デジタル活用”

現在、小中学校では全ての生徒・児童に1人1台のタブレットが貸与されています。子供たちは、自宅での充電の為に毎日重たい端末や充電器を持ち帰る日々。授業での活用はもちろん、既に導入中のAI型ドリルを使った自宅学習の促進など多額な予算で整備された環境を活かし、投資に見合った活用を行う必要があります。また、学校によってはまだまだ、紙配布が多いおたより・プリントのデジタル化を進め、保護者にも先生の働き方にもやさしい環境作りを目指します。



佐賀市の
孤育てを
ゼロに!!



佐賀市議会議員候補
なんり あけみ

